

ぎふしん杯 第2回 こども将棋 岐王戦

開催日 令和4年 10月2日(日) 会場 岐阜市文化センター(岐阜市金町5-7-2)



岐阜信用金庫の特別協賛により、小学生が将棋の腕を競う「ぎふしん杯 第2回こども将棋岐王戦」が2日、岐阜市金町の岐阜市文化センターで開かれ、三つの部門に児童ら80人が出場し、熱戦を繰り広げた。岐阜の将棋文化の普及と発展を図ろうと、昨年から開催。スペシャルゲストで参加した各務原市出身の高田明浩四段(20)が子どもたちの戦いを見守った。

大会には、県内をはじめ、愛知県や大阪府、京都府などから上級者対象の岐王戦に16人、初中級者対象のこども大会の低学年、高学年の部に各32人が出場した。高田四段は会場で見回ったり、指導対局をしりして、子どもたちと交流した。岐王戦の決勝棋譜は12月7日から将棋面に掲載する予定。



優勝者コメント

岐王戦 谷口 陽飛

2連覇を目指していたので達成できてよかった。最初は緊張したけれど、全体的にいつも通りの将棋ができた。決勝は一番苦しい対局だったが、使っていた駒をうまく使って戦うことができた。(写真 後列右から3人目)



こども大会-高学年の部 佐橋 曉登

3～5局は接戦だったが勝ててよかった。自分の将棋をすることができた。他県の力のある出場者と対局することができて、いい経験になった。来年は岐王戦で優勝したい。(写真 中央)



こども大会-低学年の部 澤田 龍平

昨年は決勝戦で負けて悔しかったので、優勝することができてとてもうれしい。決勝戦は接戦だったが、しっかりと粘って勝つことができた。自信になった。来年は岐王戦に出場したい。(写真 中央)



大会によせて

岐阜信用金庫 常務理事 光崎 修

第2回大会にご参加をいただき、誠にありがとうございました。昨年度と比べ非常にハイレベルな大会となり、子供たちの成長ぶりを実感でき将来に期待できる大会でした。

この大会から第二の高田四段が輩出され、当地域の将棋ブームの起点となることを願っています。岐阜信用金庫はこれからも子供たちの未来を育み、「すばらしい明日をつくる」という地域貢献活動が続けてまいります。

大会講評

日本将棋連盟岐阜県支部連合会 会長 伊藤 壽

昨年に増して、非常にレベルが高い大会だった。人工知能(AI)による対戦ソフトでの練習の影響から、最新の戦法を取り入れた出場者もいた。県内の子どもたちが他県の参加者と対戦することは刺激になり、棋力のアップにつながる。来年はさらにハイレベルな大会になることが期待され、楽しみです。



大会結果

岐王戦

- ◆優勝 谷口 陽飛(京都府)
- ◆第二位 伊藤 詩吾(海津市)
- ◆第三位 安本 興生(愛知県)
- ◆第四位 加納 歩人(愛知県)
- ◆第五位 伊藤 雅隆(岐阜市)
- ◆第五位 榎野 陸(奈良県)

こども大会 高学年の部

- ◆優勝 佐橋 曉登(可児市)
- ◆第二位 波戸 崎樹(各務原市)
- ◆第三位 山本 和佐(愛知県)

こども大会 低学年の部

- ◆優勝 澤田 龍平(大阪府)
- ◆第二位 三原 勇一朗(三重県)
- ◆第三位 山内 毅彦(奈良県)



各務原市出身のプロ棋士 高田 明浩 四段

昨年の第1回大会に続き、高田四段をスペシャルゲストに迎え、感染対策を講じて開催。県内外から岐阜の地に集まった子ども棋士たちは、高田四段から「時間を大切に使う、実力を発揮してほしい」と激励を受けて対局に臨み、熱い戦いが展開された。

子ども棋士の対局を熱心に見て回った高田四段は「いずれもハイレベルな戦いで感心する」とうれしそうに話した。高田四段が岐王戦上位3人と対した指導対局では、子ども棋士のレベルの高さを裏付ける番狂わせが起きた。岐王戦三位の安本興生君が高田四段を倒したのだ。「信じられない。とてもうれしい」と安本君は喜びを語った。高田四段は「私も小学生の時にプロ棋士に勝つことがあり、大きな自信になった。安本君にはもっと強くなってほしい」と振り返った。

大会全般については「大会の知名度が高まり、出場者のレベルが上がっている。全国から実力者が集まる大会に育ってほしい」と自身のプロ昇格を機にスタートした大会に期待を寄せた。



【主催】岐阜新聞社 岐阜放送 【共催】日本将棋連盟岐阜県支部連合会

【後援】岐阜県、岐阜市、岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会、日本将棋連盟東海普及連合会

【特別協賛】岐阜信用金庫



ちょっと先の未来のために
私たちにできること



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

すばらしい明日をつくる
岐阜信用金庫

岐阜信用金庫は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

